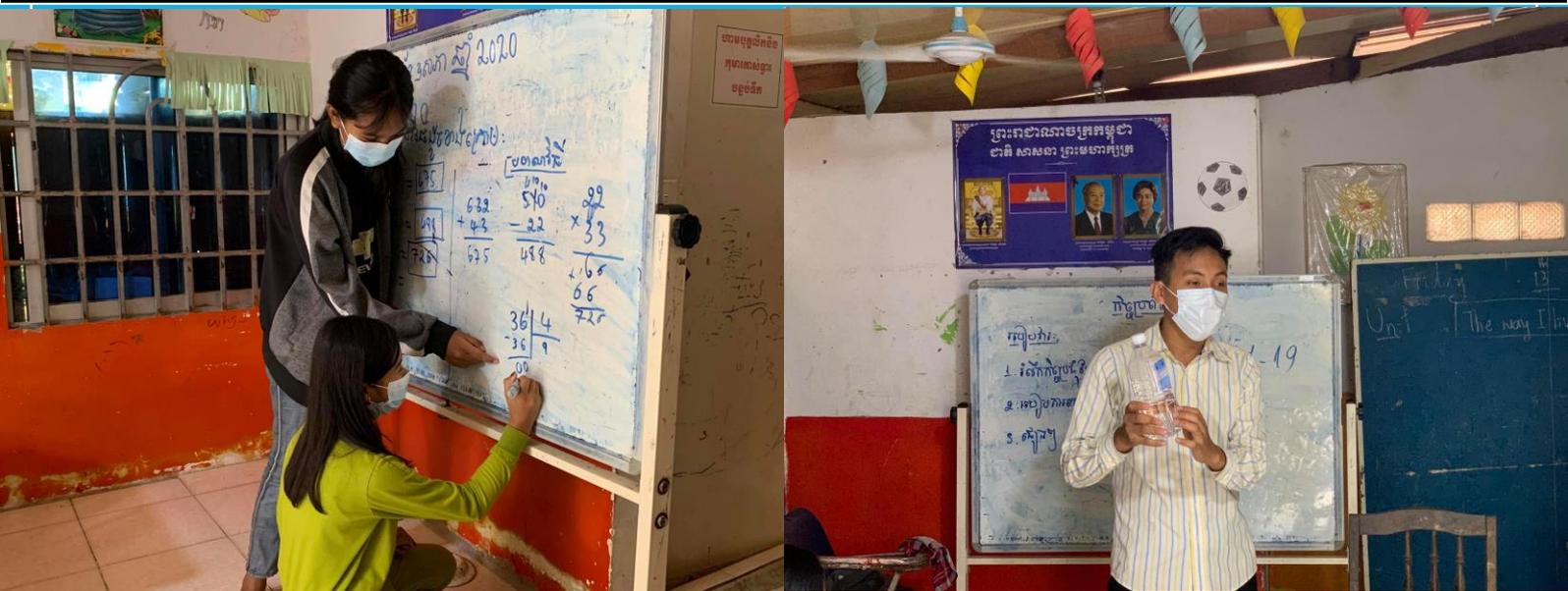


温かなご支援、ありがとうございました！

សូមអរគុណចំពោះការគាំទ្រដោយបេះដូង។

# カンボジア王国 児童保護施設存続支援 緊急アピール 新型コロナウイルス緊急支援募金 報告書



## カンボジアの状況

カンボジアでは2020年1月27日にカンボジアを訪れていた外国人1人が新型コロナウイルスに感染していることを確認し、隔離しました。その後、3月7日にカンボジア人として初めての症例が確認されて以来、現在(9月2日時点)までに273人の感染が認められています(死者0人)。

感染者数は他国と比べて少ないものの、カンボジアは医療施設や衛生環境が脆弱なため、感染者の拡大が不安視されます。それを受け、カンボジア教育・青年・スポーツ省(以下、教育省)は3月16日よりすべての教育施設を休校にしており、幼稚園から高等学校までの子どもたち3,210,285人が影響を受けていると報告しています。

平素より、エファジャパンの活動へのご理解とご協力をいただき心より御礼申し上げます。2020年4月16日より呼びかけをさせていただきました「【緊急アピール】新型コロナウイルス緊急支援募金-カンボジア児童保護施設支援のお願い-」ですが、温かく多大なご協力により、当初の目標を大幅に上回る250万円を超えるご支援をいただきました。

皆さまからのご支援により、5月から順次支援先であるカンボジアの協力団体で児童保護施設を運営するSCADP(スキャップ: Street Children Assistance and Development Program)へ送金を行うことができました。これにより新型コロナウイルスの影響で経営の危機にあった児童保護施設が閉鎖されることなく運営が継続されています。

8月末までに実施した活動の報告及び今後の計画についてお知らせいたします。

# SCADP児童保護施設について

親に捨てられた子ども、両親と死別した子ども、極度の経済的貧困が原因で行き場を失ったり、家庭内暴力から保護されたりした子どもたちが、SCADP児童保護施設で生活を送っています。子どもたちは、この施設からそれぞれの学校へ通っていましたが、学校は3月以降、休校しています。

プノンペンのSCADPでは、施設敷地内で託児所を兼ねた幼稚園を運営しており、近所で暮らす子どもたち約120人が登録をしています。幼稚園運営から得られる収入(2,240ドル/月)は、この児童保護施設と附属する寺子屋教室(登録児童数:約50人)を維持するための主要な資金源となっています。しかし、一連の新型コロナウイルスの影響で幼稚園を休園せざるをえなく、4月以降は収入源を絶たれています。そのため児童保護施設の存続が危ぶまれていました。



## SCADP代表 Ms. Yim Sokhary(イム・ソカリー)からのお礼のメッセージ

新型コロナウイルス感染症は、世界中の人々に大きな衝撃を与えたと言えます。このウイルスは、世界中のすべての人間の、多くの命や健康を奪い、経済的にも大きな打撃をもたらし続けています。カンボジアでは現在まで、幸運にも亡くなった方はいません。しかし経済的には、特にカンボジアのような発展途上国に最も影響を与えています。

エファジャパンは2007年から、私たちSCADPを常にサポートしてくれています。今回も、私たちの施設、子どもたちを支援するために資金調達プロジェクトを立ち上げてくれました。頂いた資金は、施設で暮らす子どもたち、スタッフ、そして私たちのプロジェクトにとって、とても重要で大切な意味があります。

SCADPスタッフと子どもたちを代表して、サポートしてくれている自治労関係者の皆さま、募金をしてくれた方々に心から感謝します。



# 活動内容

皆さまのご支援により、4月から8月までの5ヶ月に以下の活動を実施することができました。

## ■ 児童保護施設の継続的運営

幼稚園運営から得られる収入分をこの度の支援で補うことができました。滞りなく施設の家賃を支払うことができたため、施設で暮らす22人の子どもたちを退去させることなく、通常通りのケアを行うことができました。また、常勤及び非常勤職員14名分の給与の支払いが可能となりました。

## ■ 児童保護施設の子どもたちへの学習支援

学校が閉鎖になっている間も児童保護施設の中で学習が続けられるように、環境を整えました。施設に入居している子どもたちにとって、教育こそ貧困の負の連鎖を断ち切り、未来を切り開き、人生に変化を起こすために必要なことだと考え、教育の機会を失わないように努めました。

- ・ SCADPの職員による子どもの学習や遊びの時間のサポート
- ・ 年上の子どもが下の子どもに教える、子どもたち自身によるグループ学習を実施
- ・ スポーツや外での遊びを通じた健康維持への取り組み
- ・ 料理、掃除、洗濯を行い、生活する力をつける取り組み



## ■ 職員による家庭訪問

6月より、幼稚園に通っていた園児の家を職員が訪問し、園児の様子の確認や両親の相談などを受けています。7月にも行う予定でしたがカンボジアでも感染者が増加したため、8月中旬に延期となりました。家庭訪問の目的は以下の通りです。

- ・ 保護者の仕事や生活の状況の聞き取り
- ・ 休校中の子どもたちの家での自習の状況や健康状態の把握
- ・ マスクの着用や手洗いの徹底など、衛生や感染対策に関する情報の伝達
- ・ 新型コロナウイルスが収束した後、再開する幼稚園に戻ってくるように呼びかけ



# 支出報告書

## ■ 支援募集期間

2020年4月16日～8月31日

7月15日までを募集期間としておりましたが、その後も寄付のお問い合わせをいただいたため、8月31日まで受付をしました。

## ■ 募金総額

2,519,923円

## ■ 支出(2020年5月～8月)

ご支援は児童保護施設の存続のために大切に使用させていただきました。(1ドル=109円で計算しています)

	項目	単価	数量(ヶ月)	合計
	児童保護施設家賃	65,400	4	261,600円
	フルタイム職員給与(6名/月3,815円)	22,890	4	91,560円
	パートタイム職員給与(7名/月3,270円)	22,890	4	91,560円
	交通費	2,180	4	8,720円
(a)	直接事業費 小計			453,440円
(b)	事業経費 小計			28,500円
(1)	事業費 (a)+(b) 合計			481,940円
(2)	事業間接費(10%)			48,194円
	支出合計(1)+(2)			530,134円
	収支差額			1,989,789円

## これからの計画

新型コロナウイルスの影響はまだ続いています。支出差額の1,989,789円は、引き続き今回支援したブノンペン市の児童保護施設の維持管理や子どもの学習支援・居場所づくり、また同団体が運営するタイ国境にあるプレアビヒア州の児童保護施設の運営のため大切に、2020年12月末までを目標として使用させていただきます。



認定NPO法人エファジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル 3F

Tel: 03-3263-0337 Fax: 03-3263-0338

Email: info@efa-japan.org Web: <https://www.efa-japan.org>